第4回下野市国民健康保険運営協議会会議録

1. 日 程 令和3年2月15日(月)~令和3年2月19日(金)

2. 協議委員

(1)被保険者代表 伊澤 美智江 委員 稲見 郁夫 委員

九鬼 真澄 委員 伊藤 惠美子 委員

須﨑 よしえ 委員

(2) 保険医又は保険薬剤師代表

髙橋 康子 委員 荒井 博義 委員

内藤 文明 委員 赤羽根 久至 委員

鈴木 玉枝 委員

(3) 公益代表 貝木 幸男 委員 磯辺 香代 委員

吉永 希代子 委員 井上 永子 委員

金清 隆純 委員

(4)被用者保険等保険者代表 坂入 宏一 委員 遠藤 正三郎 委員

築木 達夫 委員

(以上18名)

- 3. 協議事項
- (1) 議案第1号

令和2年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について

(2) 議案第2号

令和3年度下野市国民健康保険特別会計当初予算について

(3) 議案第3号

下野市国民健康保険税条例の一部改正について

(4) 議案第4号

下野市国民健康保険データヘルス計画の見直しについて

4. 協議結果

協議事項の賛否について、書面により意見を求めたところ、委員全員が賛成であった ことから原案どおり承認。

5. その他

- (1) 令和3年度国民健康保険運営協議会運営スケジュール(案)及び令和3年度国民 健康保険事業計画(案)について
- (2) 委員からの意見(要約)
 - ・財政調整基金が現状あるいは今以上のペースで取り崩していった場合どうなるのか が懸念される。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛によるストレスが健康被害を及ぼしている。コロナウイルス感染症の収束により健康が保たれるような気がしている。
- ・下野市国民健康保険データヘルス計画において対象者の年齢は74歳となっているが、 75歳以上の方についてのデータはどのような現状か。
- ・後期高齢者の方は概ね医療機関に受診しており、血液検査等を受けていると考える と、市の健診は必要ではないかと考えるがいかがか。
- ・特定健診の実施により医療費の削減につながっているのか。
- ・特定保健指導について、コロナウイルス感染症拡大の現状を踏まえて啓発の仕方を 工夫してはどうか。